



合気道

守央書

Vol. 24



全日本合気道連盟広報 JAPAN AIKIDO FEDERATION (JAF)

- ◆発行日: 令和3年8月5日 (木)
- ◆発行: 全日本合気道連盟
〒162-0056
東京都新宿区若松町17番18号
(公財) 合気会内
TEL 03-6457-3315
- ◆発行人: 尾崎 响
- ◆編集責任者: 林 典夫



- 2~3P 第58回 全日本合気道演武大会
- 4P 宮城県合気道連盟 地域社会指導者研修会
第9回 全国合気道指導者研修会
第18回 全日本合気道連盟講習会
- 5P 船越光雄 師範 文部科学大臣表彰
尾崎 响 師範 東京都知事表彰



植芝守央 合気道道主

第五十八回全日本合気道演武大会(主催(公財)合気会、後援スポーツ庁、高崎市、(公財)高崎財団、(公財)日本武道館、NHK、日刊スポーツ新聞社、協力全日本合気道連盟)は、五月十五日正午より、群馬県高崎市・高崎アリーナで開催された。

第58回 全日本合気道 演武大会

新型コロナウイルスの影響で昨年は大会

を延期していたが今年には十分な感染症対策として、入館時の検温、入館証(演武者、大会関係者のみに配布された)の提示、一週間分の健康観察表の提出、館内の密閉止、間隔を空けての座席着座、更衣室の人数制限などを行いながら無観客での開催となった。

演武者も大幅に制限し、六十七名の師範・指導員の個人演武のみ、受け身を合わせて総勢百九十三名となった。

正午より、国歌斉唱の後、可児晋(公財)合気会理事から「只今より第五十八回全日本合気道演武大会を開催致します。昨年、本大会はコロナのため延期となりました。本日、コロナ対応の大会としてここ高崎アリーナで規模を縮小し開催できることとなりました。コロナ禍にあつても、本大会が開催できますのはひとえに高崎市を始め、ご後援を頂いております各団体並びに関係各位の格別のご支援の賜でございます。厚く御礼申し上げます。本日ご出場の



植芝守央道主の主催者挨拶

先生方には、この困難な状況下、お集まり頂き深く感謝申し上げます。この難局を乗り越える糧に致したく、先生方には合気道の素晴らしさを存分に披露頂ますようお願い致しまして開会の辞とさせていただきます」と開会の辞が述べられた。

続いて主催者挨拶として、大会会長の植芝守央合気道道主より「第五十八回全日本合気道演武大会がここ高崎アリーナで開催できますことを嬉しく思っております。昨年より新型コロナウイルス感染症が世界中に蔓延し今なお、収束の目処が立っておりません。合気道界も様々な活動が滞っております。また、緊急事態宣言が発令され、本部道場も稽古の自粛も余儀なくされております。間際まで本大会が開催されるかあやぶまれておりました。そして昨年は大会を延期せざるを得ず無念の思いでしたが、今年は何んとかこういう形で開催できましたことを嬉しく思うと同時に、安堵いたしております。全日本合気

道演武大会は合気道の稽古の研鑽の成果を発表する場であり、公益財団法人合気会挙げての重要な行事であります。今年にはコロナ禍の影響で毎年行われますような団体演武を含む一万人規模の大会を開催することはできません。高段者、師範、個人演武を含む参加者四百名、無観客での大会という形で開催させていただきました。現在の状況で出来る精一杯の形であり、前へと進む意義のある大会にしたいかなければならないと思っております。昭和三十五年より行われております全日本合気道演武大会を中断するわけには参りま



富岡賢治高崎市長



山谷えり子参議院議員



植芝充央 合気道本部道場長

せんで規模を縮小してこうしてできましたことを本当に心から皆様方に感謝申し上げます。世界はまだまだ通常の稽古がままならない状況でございます。参加が叶わなかった方々の分も心をこめ一期一会の気持ちを持って演武に臨んでいただきたいと思えます。最後に今大会を開催するに当たり高崎アリーナをご提供下さいました富岡賢治高崎市長、ご後援を賜りましたスポーツ庁をはじめ関係諸団体に篤く心から御礼申し上げます」と述べられた。

だからこそ不屈の精神、祈りの心をもって開祖植芝盛平翁の願われた合気道、合気道の先にある真の強さ、豊かな清らかな調和さと深く出会い直したいと思っております。本部道場は今年に創建九十周年です。このような中だからこそ又歴史を深く思えます。二代吉祥丸道主、戦中戦後の歩みはいかばかりかご苦勞のあったことでしょうか。今回このような中でより強く胸に迫ってまいります。合気道をもって日本を復興するんだというお気持ち。そして今、現道主、道場長そして先生方しっかりと工夫をしながらお稽古を大切に、道を歩み続ける心を持って平常心で立ち続けること、こうしたご手段を頂いていることを本当にありがたく思っております。『たゆまず磨け道のひとびと』という声が天から聞こえてくるように思えます。生涯かけて学ぶ素晴らしい合気道に出会えたことに感謝し、道主を仰ぎそして先生方のご指導の姿を胸に、また、お稽古の仲間の方々のつながりを心強く、嬉しく思いながら身を引き締め精進しいつも明るく元気に歩み続けて行きたいと思えます。本日は誠におめでとございます」とご挨拶をいただいた。

が出来た時に国際合気道大会でご利用していただきましてそのときに植芝道主とお会いしまして合気会を応援しようとお心から思っております。去年は大会の延期で利用いただけなかったわけですが、大変な状況下で大会が開催でき高崎アリーナをご利用いただけるということをお喜びしく思っております。こういう中でも私どもは国際的なスポーツ大会などを十分な感染症対策をした上でちゃんとやるんだということを実施させていただいております。改めて今大会の成功を祈念致します」とご挨拶があった。

来賓紹介、祝電の紹介の後、演武に移った。大会は演武直前までマスクを着用し、演武の途中には計六回の畳の消毒も行われた。第一部は三十六名の方々による演武が行われ最後は植芝充央合気道本部道場長で締めくくられた。

十分間の休憩を挟んで第二部が開催され、三十一名の演武が行われた。大会の最後は植芝守央道主の総合演武で締めくくられた。

最後に林典夫(公財)合気会常務理事より「第五十八回全日本合気道演武大会がここに臨席のみなさま方のご協力の下滞りなく収めることができました。また今日のために相前から準備をされていた方々、また今日一日、コロナウィルスの対策



林典夫常務理事



可児晋理事

などをしっかりと運営を頂いた皆様、関係の皆様全員に心から御礼申し上げます。またご後援を頂いたスポーツ庁、高崎市長、(公財)高崎財団、(公財)日本武道館、NHK、日刊スポーツ新聞社の後援に心より感謝申し上げます。明日からまたこの素晴らしい合気道を色々困難な制約がございますけれども、しっかりと対応していただきますから研鑽を積んで来年二〇二三年に日本武道館で元気にお会いしましょう。本日は本当にありがとうございます」と閉会の辞を述べられ大会は締めくくられた。

尚、今大会の演武の様子はすでにネット配信されている。

(合気道新聞No.718号より転載)